

平成 30 年度 大阪府立福井高等学校 第 1 回学校運営協議会議事録

日時 平成 30 年 6 月 13 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 30

場所 本校 校長室

1 校長あいさつ

学校運営協議会に代わっている。大きな変更点は二点。

① 学校経営計画 → 承認をしていただく

今年度については、このまま。第 3 回目に次年度計画の承認をいただく。

② 人事についてご意見をいただく

個人的なものは、難しい。「こういう人材が必要ですよ」というようなご意見。

2 協議会委員・事務局員紹介

3 事務局より報告

・学校経営計画及び学校評価について (資料①) 校長より

*平成 29 年度分の評価について、「学校協議会からの意見」と

「自己評価」を新たに付け加えた。ご確認いただきたい。

●「キャリア教育の推進、イ 課題研究等の発表大会を開催」は、
昨年度の大きな成果であり、生徒が素晴らしい発表を行い大成功であった。

●「確かな学力 (2)ア 相互見学週間を設定した」については機会があまり
とれなかった。今年度は改善を考えている。

*平成 30 年度の学校経営計画について、

●めざす学校像>「日本語指導が必要な帰国生徒…」について
一年生に 19 名外国にルーツを持つ生徒がいるため力を入れる。

●中期目標について

1 (2)「ア 授業力向上プロジェクトを立ち上げ…」

を大きな内容として取り上げている。

3 (2)「ア 担任だけでなく…」を新しく取り上げた。

↑担任が大変なので、学年団として、副担任とルームワークで業
務量を減らす目的

- ・入学者選抜および退学者数について（資料②） 教務部長より
選抜について…特別枠で定員を上回る19名。
退学者数については、退学・転学は、昨年度の1年生が中心。
退学10名、転学17名
定員割れのピンチからは持ち直せたかなという感じである。

- ・入学者の状況と本校の位置について（資料③） 首席より
一般枠入試合格者の「茨木市内」の割合が73.5%→63.2%に減少した。
周辺であると、「高槻」「吹田」の割合が増加し、「箕面」の割合が減少した。
周辺にあるクラス減の学校や再編された学校の影響があると考えられる。
割合が減少したものの、地元を支えられている学校であるため、
地域との連携は継続して行っていかなければならない。

- ・生徒指導の状況について（資料④） 生徒指導部長より
本校の生徒の様子は、ほぼ前年度と変わっていない。
指導の内容等は、引き続き行っている。

話題になった頭髪指導については、
地毛登録制、色・天然パーマについては指導の対象としていない。
今後、地毛登録についてが、増加してくる可能性がある。

学年の様子、2・3年については、昨年とほぼ同じ。
1年生については、昨年と変わっている。授業を落ち着いて受けられることを最大のポイントとして取り組んでいる。
ほぼ全入の形で、本年度、入学した生徒の状況を聞くと
「教室で授業を受けたことない」、例年に比べるとかなり増えている。
中学校時にほとんど学校にでていない生徒もいる。
基本的な生活の部分で、学校を上げて授業を成立させていく必要がある。

- ・部活動加入状況について（資料⑤）
1年生の男子の14ポイント減、女子13ポイント減

- ・32期生最終進路状況および33期生進路希望状況について（資料⑥） 首席より
昨年度の3年生が「総合学科」一期生であるため、昨年度から大学の「総合学科特別入試」を利用できるようになった。この特別入試を利用し、多くの生徒が合格をした。また、進路決定率が90%を超えた。

- 人権教育方針および実施計画について（資料⑦）
今年度、1学期までの取り組みを紹介。
- 多文化共生プロジェクトについて（資料⑧）
一般枠入試からの「日本語指導が必要な生徒」の合格者がいる。
国際化ということを考えると、打ち出していける武器ではないかと考えている。
- 地域連携活動報告について（資料⑨）
昨年度の地域連携活動の報告。
- 広報活動方針および中間報告について（資料⑩）
総合学科4期生を迎え、どのような総合学科をめざすか考える時期になっている。
ただいま、中学校訪問期間中で、「オープンスクール」募集を開始した。
HPの刷新、ブログの更新を活発にして、活用している。
- Yプロ年間計画について（資料⑪）
本年度は、初任者がいない。Yプロのありかたも考えていけない時期になっている。
授業力向上と絡めながら、1年生の授業に入り込み、授業見学なども検討中である。
福井小学校との交流・校区探検は、完了している。

4 質疑応答

【委員】

3点、話があります。

1点目：

体育祭の開催時期について、ここ3年間、雨で順延になったために、ご覧になれなかった保護者が出てきている。時期の再検討が必要ではないか？

2点目：

18歳成人について、聞かせてもらいたい。

高校3年生、酒・たばこ・ギャンブルは20歳以下はダメ。

多かれ少なかれ、18歳になるのではないか？

3点目：

日大のアメフト部の件について

残念、部活動は、リスクが伴う、入部の減少の理由？

いじめ、クラス・部活、大阪府で認定された記事。

強権発動的な指導、コンプライアンス委員会の立ち上げの予定はあるのか？

【回答】

* 体育祭の開催について

どこにもっていても何かに当たってしまう。

大学・短大・専門学校の進学、を考えると9月になると生徒の負担になる。

夏休みは、進路についてしっかりしてもらおうという考え。ただし、検討は行う。

* 18歳成人について

酒・タバコについては、あまり心配はない。

主権者教育をどうするかが大切である。

* いじめ対策について

いじめ対策委員会を設置している。形としてはできている。

形以外として、生徒指導・学年が連携して、活動をしている。

【委員】

地元密着で、福井高校らしくてうれしい

クラブ活動が非常に落ち込んでいるのは、なぜか？

生徒が別の方向を向いているのか？

【回答】

部活の件につきましては、人数としては、昨年度、生徒数が少なかったために大きくは変わっていない。

顧問のことは、いったん休部状態の、剣道部・ソフトボール部を復活させた。

顧問については、何とか回しているものの苦しい状況である。

【委員】

総合学科の特別推薦枠の説明を聞きたい

【回答】

A0 指定校 → 専願 9月10月に行われる

公募制推薦 とほぼ同時期 に総合学科特別推薦を受けることができる。

公募制に比べると合格率はよかった。

一番可能性もあり、

一般入試は、倍率が高くて、合格者が減少している状況がある。

そこで、がんばらせたい。

【委員】

人権保健部のところで出た報告に関して。

ダウン症に関する団体に所属している。

ダウン症の「命の選別」など、そこから話を広げるなど、

「ダウン症ってこんなんだねー」というので、とどめて欲しくない。

【回答】

ダウン症の生徒が在籍しており、現在、座って話を聞くことができている。

保護者への説明も含めて、人権保健部と担任が協力して対応している。

【委員】

広報にインスタなどを取り入れるのはどうか？

【回答】

校長個人で行っている Twitter がある。

学校としては、導入はむずかしい。

【委員】

Yプロのことについて

年齢構成は、他の高校と比べてどうなっているのか？

【回答】

初任者、大阪府は、新規採用が落ち着いている。4年目から7年目が多い。

年齢バランスは良く、40歳前後。人事については恵まれている

【委員】

課題研究発表大会の質が高かった。

2030年にはAIが多くの仕事をとってしまうような、混沌とした先行きの見えない時代である。

課題研究の発表会の内容から、新しい価値観・想像する力、プログラムの思考力、自分の仕上げたものに対する責任などこのような時代を生き抜いていく力につながっていくのではと感じた。

1年生の課題が非常に大きく、

教育と福祉の融合、福祉の視点が必要であろうと感じた。

背景には、いろんなことをもっているように思う。

一人で抱え込んでしまう先生方が多いが、チームで対応しないと厳しいと思う。

チーム学校・チーム福井が必要ではないか？

情報をどう共有していくのか、が難しいところ。

生徒の心を聴く、こころで受け止める。→共感をもって聴くこと

【回答】

福祉との連携・コーディネートする方法であるが、あらたな試みとして、スクールソーシャルワーカーに来てもらうことにしている。

【委員】

*1年生の課題については、中学校の責任もある。情報を共有していきながら、連携をしていく。その中で、退学してしまう生徒が出てくるのを減らして欲しい。

*福井高校の授業について「落ち着いた状況で授業ができているのか」が心配。

ぜひとも、授業力向上を進めて欲しい。

*平成3年度の計画にて、個人情報の管理について、計画に書かれていないが、どう対応するのか？

【回答】

個人情報の管理について、

昨年度、学校全体を見た結果、教員が忙しいのが原因の一つと考えられる。

計画は、昨年度作成したもので、4月に起こったこの件については、

掲載できなかったが、対応は必ず行う。

【委員】

授業について、中学校では、

「ねらいを決めて授業を行う」「授業規律」「話し合い活動を授業にかならず入れる」
などなど、決められている。

小学校と中学校を同じ授業の方法でつなげれば、生徒にも分かり易いのではないか？
中学校の授業力向上プログラムをご覧になってみては？

【回答】

明日、北中学校に訪問、その際に、詳しく伺ってみる。

【委員】

せっかく入ったのになぜ退学するのか？

【回答1】

できるだけ、学校に魅力を感じてもらいたい。

「先生たちも話をちゃんと聞くよ」

という姿勢で、生徒に対応している。

それが、退学する生徒の減少につながると考えている。

【回答2】

学校がどれだけ魅力があるかにつながっている。

授業が面白くて、部活が面白くて、先生が話をきいてくれる…

そういう風にしていくのが、根本解決につながる。

【委員】

授業の楽しさが必要。

古典落語など聞いたりすれば、話が面白くなる。

教員に、ゆとりの時間があれば、そういうこともできるのだが。

平成 30 年度 大阪府立福井高等学校学校運営協議会委員（敬称略）

番号	名前	職名
1	永田 光雄	元福井高校校長
2	米澤 恵子	元茨木市立福井小学校長
3	川又 澄子	福井公民館主事 福井小学校放課後子ども教室コーディネーター
4	中村 信彦	(社) とよかわ福社会理事
5	松井 宏之	本校 P T A 会長
6	草場 信幸	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立北陵中学校長

事務局

番号	名前	校務分掌等
1	富永 誠	校長
2	原田 信尚	教頭
3	坂本 丞平	首席
4	太田 真希子	首席・教務部長
5	赤松 史朗	生徒指導部長
6	澁谷 明美	進路指導部長
7	岡本 澄	地域連携主担

次回 平成 30 年 11 月に行う予定 [校長室]